

修行日	西暦	重要事項	覚え方	語呂合わせ
初日	57	漢の皇帝から倭の奴国王に金印が与えられる	漢の金印いつ奴の国に届いたか	いつな
第二日目	239	卑弥呼は魏に使いを送り、親魏倭王とされる	発見後 奴の国もわかった博多の金印 卑弥呼の文来る魏の国へ 卑弥呼から文来る国は三国の魏 邪馬台の卑弥呼の文来る魏の国へ	ごな ふみく ふみく ふみく
第三日目	593	聖徳太子が推古天皇の摂政となる	ふみこ 聖徳太子コックさん	ふみこ こっく
第四日目	630	第一回の遣唐使が送られた	豪族の戦(いくさ)避(さ)けよと祈る太子	いくさ
第五日目	645	大化の改新がおこる	記録見れば、この遣唐使一回目 大化の改新むしご年 無視ご免の大化の改新	ろくみれ むしご むしご
第六日目	701	大宝律令を定める	なれ一番大切な律令に	なれいち
第七日目	710	平城京に都を移す	なんとりっぱな平城京 無い例なんと平城京	なんと ないれい
第八日目	720	日本書紀ができる	奈良南都平城京 天平の何(なに)を語るか日本書紀	なんと なにを
第九日目	743	墾田永年私財法が出る	奈良の何(なに)を語るか日本書紀	なにを
第十日目	743	大仏造立の詔が出る	墾田永年私財法で公地は無しさ	なしさ
第十日目	794	平安京に都を移す	大仏造って苦しみは無しさ 奈良の寺が泣くよ新都平安京 奈良の寺泣くよ平安桓武朝	なしさ なくよ なくよ
第十一日目	894	遣唐使が廃止された	うぐいす鳴くよ平安京 遣唐使廃止の世話やくよ 白紙にもどす遣唐使	なくよ やくよ はくし
第十二日目	1016	藤原道長が摂政になる	道真は九死に一生を得た	はきゅうし
第十三日目	1086	院政が始まる	遠い昔道長摂政全盛期 院政のはじめをやるう白河上皇	とおいむ はじめをやる
第十四日目	1156	保元の乱がおこる	摂関の音(おと)やむ白河院政	とやむ
第十五日目	1159	平治の乱がおこる	保元は武士登場にいいころだ	いいころ
第十六日目	1179	平氏政権が成立する	清盛よ平治までいちいちご苦労さん	いちいちごく
第十七日目	1192	源頼朝が鎌倉幕府をひらく	いいなこのツキ！清盛、政権とる 政権とってうれしさにワンワン泣く清盛	いいなこのつ わんわんなく
第十八日目	1221	承久の乱がおこる	いい国にする頼朝 いい国になったか鎌倉幕府	いいくに いいくに
第十九日目	1232	御成敗式目を定める	公家の人々苦にする鎌倉幕府	ひとびとくに
第二十日目	1274	文永の役がおこる	承久の乱で一石二鳥の不意打ち作戦	いっせきにちょう ふい
第二十一日目	1281	弘安の役がおこる	京都の人に不意に襲われた北条氏 承久の乱は12の裏返し	ひとにふい 12のうらがえし
第二十二日目	1297	永仁の徳政令が出る	一文に書き表した武家の法 神風が吹いて元軍とうになし	ひとふみに とうになし
			人には言おう弘安の風	ひとにはい
			弘安も博多の湾に入る元	わんにはい
			元の人に矢射る弘安の武士	ひとにやい
			人により福難ある徳政令	ひと ふくな

修行日	西暦	重要事項	覚え方	語呂合わせ
第二十三日目	1333	鎌倉幕府がほろびる	人に苦難も永仁の徳政令 北条の一味がさんざんな目にあう	ひとにくな いちみがさんざん
			北条の一味さんざん尊氏に	いちみさんざん
			尊氏に北条一味さんざんで	いちみさんざん
第二十四日目	1334	建武の新政がおこなわれる	新政の意味見よという後醍醐	いみみよ
第二十五日目	1392	南北朝が合体される	義満の一策に南北朝は合意	いっさくに
			南北朝は義満の一策に合体し	いっさくに
			義満の瞳(ひとみ)苦になる南北朝	ひとみに
第二十六日目	1428	正長の土一揆がおこる	正長の一夜に走る馬借一揆	ひとよには
			正長は一夜に走る馬借から	ひとよには
			一夜には終わらぬ正長の土一揆	ひとよには
第二十七日目	1467	応仁の乱がおこる	戦国の人世むなしき応仁の乱	ひとよむな
			一夜むなし応仁の乱	ひとよむな
			人読むな応仁の乱の悲しい話	ひとよむな
第二十八日目	1485	山城の国一揆がおこる	山城の国人の意志はいつも固い	いしはいつ
第二十九日目	1492	コロンブスがアメリカ大陸を発見する	スペインに一眼よく似たアメリカ大陸	いっけんよくに
			いしくに	いしくに
第三十日目	1498	ガマがインド航路を発見する	ガマはポルトガルの人四苦八苦の船旅	ひとしくは
			インド行き人よくやったとガマたたえ	ひとよくや
第三十一日目	1517	ルターが宗教改革をはじめる	これ以後一筋縄でいかぬルター	いごひと な
第三十二日目	1543	鉄砲が伝来する	大名に以後しみ渡る火縄銃	いごしみ
			日曆めくる種子島	ひごよみ
			種子島以後読みかえる戦のしかた	いごよみ
第三十三日目	1549	キリスト教が伝わる	以後よく学べキリスト教	いごよく
			ザビエル以後よく広まったキリスト教	いごよく
第三十四日目	1573	室町幕府がほろびる	信長の追放以後並みの人になった義昭	いごなみ
			義昭は追放以後並みになる	いごなみ
			室町なくなり人いつ涙する	ひといつなみ
第三十五日目	1590	秀吉が天下を統一する	秀吉統一後旧例となった荘園制	いつごきゅうれい
第三十六日目	1600	関ヶ原の戦いがおこる	人群れを東西に分ける関ヶ原	ひとむれを
第三十七日目	1603	江戸幕府が成立する	人群れ騒ぐ江戸の町	ひとむれさ
第三十八日目	1637	島原・天草一揆がおこる	一路皆原城へ向かう一揆衆	いちろみな
			島原・天草から一路みな原城へ	いちろみな
			富む側に皆殺された島原・天草の人	とむ みな
第三十九日目	1639	鎖国が完成する	また一つむさくしくなった鎖国令	ひとつむさく
			日蘭は一路、裂く日ボの仲	いちろさく
第四十日目	1649	清教徒革命がおこる	清教徒で王より富むクロムウェル	とむよく
			広くよく知られる清教徒革命	ひろくよく
			ピューリタン初め無欲のクロムウェル	はじめむよく
第四十一日目	1688	名誉革命がおこる	イギリスに広く早まる名誉革命	ひろくはや
第四十二日目	1716	吉宗が享保の改革をはじめる	享保の改革でもういないうくでなし	いないうく
			吉宗しかいない 無理な改革できるのは	いないむ
			享保の一難とろう吉宗が	いちなんとろ
第四十三日目	1776	アメリカ独立宣言を出す	植民地！否なろう独立国に	いなる

修行日	西暦	重要事項	覚え方	語呂合わせ
第四十四日目	1787	定信が寛政の改革をはじめる	寛政の人 名はなんといっても松平定信	ひとなはなん
			田沼から一転つらいな花の定信	いなはな
第四十五日目	1789	フランス革命がおこる	火縄くすぶるバスターユ	ひなわく
			また一つ飛躍したフランス市民	ひとつひやく
第四十六日目	1804	ナポレオンが皇帝となる	皇帝と長く言われよナポレオン	いわれよ
			皇帝の一夜を喜ぶナポレオン	いちやをよ
第四十七日目	1825	異国船打払令がでる	一夜に号令変わり打払え	いちやにこ
			打払えと一夜に号令急変し	いちやにこ
			いやにご立派な打払い令だね	いやにご
第四十八日目	1837	大塩平八郎の乱がおこる	飢える人は皆 大塩に味方する	ひとはみな
			人は皆大塩の乱に味方する	ひとはみな
第四十九日目	1840	アヘン戦争がはじまる	清の人走れ イギリス・アヘンと戦え	ひとはしれ
			人走れアヘン戦争広東に	ひとはしれ
第五十日目	1841	天保の改革がはじまる	天保の水野忠邦 ひとはよいが改革はだめ	ひとはよい
			人は良いように言わない天保の改革	ひとはよい
			天保の失政忠邦人はよい	ひとはよい
			水野一人はよいが、あとはだめな天保の改革	ひとはよい
第五十一日目	1853	ペリーが日本に来航する	いやーござったペリーさん	いやござ
			人はいつ見るペリーの黒船	ひとはいつみ
			浦賀沖人はいつ見るペリー黒船	ひとはいつみ
			てんやわんや混みあう浦賀に黒船ペリー	わんやこみ
			黒船の一夜明ければ混みあう浦賀	いちや こみ
			ひとはコミカルに描くペリーの顔	ひとはこみ
第五十二日目	1854	日米和親条約を調印する	大砲一発後 しぶしぶ和親の条約調印	いっばつごし
			条約は大砲一発後しぶしぶと	いっばつごし
第五十三日目	1857	インドの大反乱がはじまる	銃一発後なみいるセボイは反英に	いっばつごな
			インドの人はいつなる独立の国に	ひとはいつな
第五十四日目	1858	日米修好通商条約が調印される	井伊は御破算にしたくなかった通商条約	いいはごは
			通商を井伊はご破算にしたくなかった	いいはごは
第五十五日目	1861	南北戦争がおこる	南北の戦を人は無意味という	ひとはむい
			一夜で無一文になった南の人	いちや むいち
第五十六日目	1867	慶喜が大政奉還をする	幕府の人はむなく政権を返す	ひとはむな
			幕府の人やむなく政権を天皇へ	ひとやむな
第五十七日目	1868	江戸を東京に	人はむやみに東京へ	ひとはむや
			大江戸の人はむやみに東京へ	ひとはむや
第五十八日目	1871	新政府が廃藩置県をおこなう	もう藩とは言わない	いわない
			県を置きもう藩とは言わない	いわない
	1871	ドイツ統一し帝国に	ドイツはプロシアとは言わない	いわない
第五十九日目	1873	徴兵令と地租改正がはじまる	一花咲くか徴兵の兵士	ひとはなさ
			人は涙で送る徴兵の子を	ひとはなみ
			嫌な身だ小作農は。地租改正でも変わらない	いやなみ
			嫌な策徴兵地租と一緒に	いやなさ
第六十日目	1874	板垣らが民選議院設立建白書を提出する	板垣と一つ話してみよう民選議院	ひとつはなし
			民選のいい話しする板垣ら	いいはなし

修行日	西暦	重要事項	覚え方	語呂合わせ
第六十一日目	1877	西南戦争がおこる	不平士族が一花投げる西郷の墓	ひとはなな
			士族らに一花投げる西郷ドン	ひとはなな
第六十二日目	1889	大日本帝国憲法を發布する	アジアでいち早く発布明治憲法	いちはやく
			アジアでは憲法発布いち早く	いちはやく
			憲法みて民権一派はくやしがる	いっばはく
第六十三日目	1890	第1回帝国議会が開かれる。教育勅語が出る	ちよくこで一夜も暮れる帝国議会	いちやもくれ
			勅語で一夜も暮れる初議会	いちやもくれ
			論戦で一夜も暮れる初議会	いちやもくれ
			選挙の最初からいちやくおどり出た板垣自由党	いちはやくお
第六十四日目	1894	日清戦争がはじまる	人は苦心の日清戦争	ひとはくし
			清破り一躍世に出る大日本	いちやくよ
			朝鮮をにらんで一躍清破り	いちやくし
第六十五日目	1902	日英同盟を結ぶ	日暮れに結ぶ日英同盟	ひぐれに
			干渉の一句をにらんで日英同盟	いっくをに
			同盟の敵引く例にロシアあり	ひくれいに
第六十六日目	1904	日露戦争がはじまる	ひとつくれよう露にげんこ	ひとつくれよ
			トークをしないで戦う日露	とーくをし
			日露はトークをしないで戦った	とーくをし
			戦いで日露のいずれが得をした	とくをし
第六十七日目	1910	日本は韓国を併合する(日韓併合)	人食いを思わせる韓国併合	ひとくいを
			はじめから悔いを残す韓国併合	はじめからくいを
			併合し韓国へ行く伊藤のあと	いくいとう
第六十八日目	1911	関税自主権を完全回復する。条約改正が終わる	日本の低(ひく)い位置を直す条約改正	ひくいいち
			低(ひく)い位置税権ないのを回復し	ひくいいち
			低(ひく)い位置関税自主権改正し	ひくいいち
			関税を求めてアメリカへ行く。いい結果をえた小村	いくいい
	1911	辛亥革命がおこる	孫文なっとく いい革命だ	とくいい
第六十九日目	1914	第一次世界大戦がはじまる	日本は大戦を待って行く人よ	いくひとよ
第七十日目	1915	日本が中国に二十一か条の要求を出す	要求の一句一語に野心あり	いっくいちご
第七十一日目	1917	ロシア革命がおこる	ロシア革命得意な顔のレーニン	とくいな
			革命にロシアのレーニン得意な顔	とくいな
第七十二日目	1918	米騒動がおこる	騒動へ行く人はみな米求め	いくひとは
第七十三日目	1919	パリ講和会議でベルサイユ条約が結ばれる	行く行くパリへ平和の使	いくいく
			平和の使行く行くパリのベルサイユ	いくいく
第七十四日目	1920	国際連盟が成立する	ウィルソンに特に礼をいう国際連盟	とくにれい
			ウィルソンに特に礼をいう連盟は	とくにれい
第七十五日目	1921	ワシントン会議が開かれる	ワシントンは引くに引かれぬ軍縮の道	ひくにひ
			軍縮は引くに引かれぬワシントン	ひくにひ
第七十六日目	1923	関東大震災がおこる	特に避けたかった関東大震災	とくにさ
			遠くに惨状を見る東京焼け野原	とおくにみ
			関東の遠くに見える震災の跡	とおくにみ
第七十七日目	1925	治安維持法と男子普通選挙法が成立する	やっと選挙に行く25歳男子	いく25
			男から選挙に行く25歳	いく25
第七十八日目	1929	世界恐慌がおこる	特に苦しかった世界恐慌	とくにく
			恐慌が世界を特に苦しめる	とくにく

修行日	西暦	重要事項	覚え方	語呂合わせ
			ここ一番苦肉の策もない世界恐慌	いちばんにく
			にくい世界恐慌	にくい
			福が消えて株価暴落	ふく
第七十九日目	1930	ロンドン会議で海軍軍縮条約が結ばれる	戦がなくなればよいロンドン海軍軍縮条約	いくさなくなれ
			海軍が身を縮めるロンドン会議	みを
			戦いに行く身を考えると海軍	いくみを
			戦なしのロンドン海軍軍縮条約	いくさなし
			ロンドンで戦をなくす海軍軍縮条約	いくさなくす
第八十日目	1932	五・一五事件がおこる	軍人が戦に引き込む五・一五	いくさに
			兵士の一組に殺された犬養首相	ひとくみに
第八十一日目	1936	二・二六事件が おこる	二・二六行くか去ろうか戦道(いくさみち)	いくかさる
第八十二日目	1937	日中戦争がはじまる	戦長引く日中戦争	いくさな
			日中の戦長引く8年も	いくさな
			口溝橋の遠く見ながら日中戦争	とおくみな
第八十三日目	1939	第二次世界大戦がはじまる	いくさ苦しい第二次大戦	いくさく
			2回目のいくさ苦しい世界戦	いくさく
第八十四日目	1940	三国同盟が成立する	日独伊 行くよお互い戦争へ	いくよお
第八十五日目	1941	太平洋戦争がはじまる	真珠湾 引くがよいのに突入し	ひくがよい
第八十六日目	1945	ポツダム宣言を受諾する	もう行くよ降伏の道ポツダム宣言	いくよこ
			一句一句夜毎に読むポツダム宣言	いっくよこ
			ポツダムの宣言一句夜毎読む	いっくよこ
第八十七日目	1946	日本国憲法が公布される	行く末のとおくまで読む新憲法	とおく よむ
			なっとくしなさい新憲法	とくしな
第八十八日目	1950	朝鮮戦争がはじまる	朝鮮の人の救護を頼む国連	ひと きゅうごを
			朝鮮で人の救護を頼むUN	ひと きゅうごを
第八十九日目	1951	サンフランシスコ講和会議が開かれ平和条約を結	西側に行く合意のサ条約	いくごうい
第九十日目	1956	日ソ共同宣言が出て日本は国連に加盟する	日本は20世紀のころに国連加盟	ころ
			日本は国連に行くころだ	いくころ
			国連へ行くころになった日本も	いくころ
第九十一日目	1972	沖縄が本土に復帰する	戦いに行くな再び沖縄よ	いくなふたたび
第九十二日目	1978	日中平和友好条約を結ぶ	もう解くな約束固い日中平和	とく な や